

中宮祠小・中学校焼失

プレハブ校舎で応急授業

二月十三日午後七時ごろ、中宮祠中学校昇降口付近から出火、おりからの強風にあおられ、またたく間に同校舎と併設の小学校を焼失しました。出火の原因はストーブの取り灰の不始末と認定されましたが、火事は一瞬のうちに財産を灰にしてしまうおそろしい災害です。火災発生の際は多い時期ですので、くれぐれも火の元にご注意ください。なお、市内での学校災害はこれが初めてのことです。

一瞬のうちに校舎をひとなめにしたこんどの大火で、中学校は体育用具物置三三平方メートルを残して全部焼失、小学校は二教室と便所を残して六三七平方メートルを焼失してしまいました。方メートルを焼失してしまいました。出火の急報で地元消防団が初期消火にあたり、消防本部や他の消防団の応援を得て鎮火させ



中宮祠小・中学校の焼けあと

たちの協力で、学校でいらばんたいせつな指導要録、健康診断票の全部、学力調査の一部は搬出されましたが、その他の教材

備品類は火のまわりが早くほとんど焼失してしまいました。このため今後の指導面に大きな影響が与えられているので、市では問題を重視し復旧に全力をあげています。

なお、損害見積額は約千七百万円です。

中宮祠小・中学校再建に

義援金がぞくぞく

焼失した中宮祠小・中学校の再建に役立たせてほしいと、義援金がぞくぞくさしよべられ、二月二十三日現在で七六万八、七七四円もの浄財がよせられています。これら募り浄財は学校教育課でとりまとめ、校舎の再建と教材購入にあてられることになっています。

義援金をよせられた方はつきのとおり。敬称略。(二月二十三日現在)

※安川町婦人会 一万円 ※七窓会(星野校長同窓会) 千円 ※今井昌晃(山内) 千円 ※茂木賢三郎(野田市) 二千円 ※日光市役所職員共済組合 五万円 ※知野カツ(稲荷町三) 六万円 ※栃木県小学校長会 十万円 ※森六平(宇都宮) 千円 ※今市市教育委員会 三万円 ※日高職員生徒一同 二万七千三百六十円 ※上都賀教育事務所 上都賀地区教育研究所 五千元 ※市内小中学校職員生徒一同 十一万二千八百四十四円 ※栃木県小中学校教頭会連絡協議会 五万円 ※足尾中学校職員生徒一同 一万五千八百三十円 ※栃木県中学校長会 三万七千八百円 ※岡本洋子(中宮祠) 千円 ※田井一(松原町) 五千円 ※仲元屋旅館(那珂湊市) 五千元 ※浦島敦子(宇都宮) 五百円 ※キッコーマン醤油KK 籠球部一同(野田) 三千元 ※匿名(宇都宮) 四百円 ※西小来川婦人会 三千元 ※三英自動車労働組合 二千円 ※日光ライオンズクラブ 十万円 ※田中恒雄(宇都宮) 千円 ※雀宮中央小用務員 五百円 ※粕谷ユキ(益子町) 二万円

耐火構造校舎を

早急に再建

市では対策を重視し、焼失した中宮祠小・中学校の授業体制と再建について、市教育委員会と市議会ともども検討をすすめてきました。その結果、とりあえず日光国体で使用した選手控室のプレハブ住宅を利用して仮校舎を校庭に建て、さらに焼け残った二教室を応急修理してこれにあてることをきめ現在この仮校舎で授業がすすめられています。

なお、この仮校舎ができるまでの期間は二荒山神社と高橋茂氏のご協力で授業の場を提供していただき分散授業を行ないました。

また、校舎再建については慎重に検討がすすめられています。が、耐火構造の校舎を新築することに原案がまとまり、必要な手続きをすませたうえで早急に着手されることになりました。

※二荒山神社 一万円 ※栃木県連合教育会 一万円 ※宇都宮木材加工KK 五千円 ※渋谷源蔵(宇都宮市) 二千円 ※淡水区水産研究所日光支所職員一同 六千六百円 ※33年度中宮祠中卒業生一同(代表神山勝利) 一万二千元 ※作新学院船田亭 二千元 ※作新学院院職員生徒一同 六万円 ※学習研究社 二千元 ※岡本力夫(東京) 一万円 ※小林十吉(宇都宮) 三千元 ※栗山村 三千元 ※茶ノ木平野球チーム 二千元 ※足尾町 一万円 ※末広会(代表岡部恒男) 二万円 ※神山保治(足尾町) 三千元 ※森山欽次 一万円 ※今市工校 二千元